

兵庫県保険医協会神戸支部 第36回総会のご案内

<記念講演>

高齢者のてんかんの特徴と治療 —認知症と間違えないように—

日時 **10月17日(土)** 14:30～

会場 兵庫県保険医協会会議室 (JR・阪神元町駅南へ徒歩7分)

講師 兵庫医科大学 内科学 神経・脳卒中科 **武田 正中** 教授

てんかんは頻度の高い疾患で、わが国の患者数は100万人を超える。てんかんは小児に多いイメージがあるが高齢者のてんかん患者は大変増えている。65歳以上はてんかんの好発年齢である。高齢者のてんかんは、半数がけいれんのない複雑部分発作で、1～3分程度の意識減損や自動症を特徴とする。また複雑部分発作の重積状態になる確率が高く、非けいれん性てんかん重積状態になりやすい。高齢者で原因不明のもの忘れや意識障害がみられた場合、てんかんの可能性がある。これらの状態は認知症と鑑別が困難なことも多く、診断には脳波検査が必須である。高齢者における抗てんかん薬の選択は、合併症や併用薬治療への影響を考慮するべきである。抗てんかん薬はまず少量から始め漸増する。高齢者に多い部分発作の第1選択はカルバマゼピンである。新規抗てんかん薬のラモトリギンは忍容性が高く、レベチラセタムは多剤との相互作用が低く、高齢者の抗てんかん薬に適しているといえる。(武田記)

お問い合わせは TEL:078-393-1807 栗山・納富(ノミ)まで

参加申込書

FAX返信 078-393-1802

- ・総会(14:30～) 参加 不参加 (議事の一切を議長に委任します)
- ・記念講演(15:00～17:00) 参加 ()人 不参加
- ・懇親会(記念講演終了後) 参加 不参加

*会場:ニューミュンヘン倶楽部神戸元町店 参加無料

地区() 医療機関名()

会員氏名() 連絡先()

兵庫県保険医協会

283号 2015年9月15日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

神戸支部会員のみなさまへ

10・17神戸支部総会記念講演で 会いましょう

神戸支部長・田中 孝明

あなたは知っていますか？

てんかんを認知症と誤診しているということを

今年8月のニュースによると、物忘れや徘徊で受診した患者さんが、認知症ではなく、ほんとはてんかんだったという例が年間数千例にも上ることが、NHKが認知症専門医に行ったアンケートによって明らかになりました。

ということはわれわれが誤診している患者さんもいる？認知症の高い薬を出しているのに、さほど効果は見られないが、実はてんかん？

これは医師会も学会も何のコメントを出してないですが、大問題ではないですか？

長谷川式だけで、認知症と診断したあなた、泡を吹いて倒れるのがてんかんと思ってたあなた、どうかこの講演会を聞いて誤診を減らしてください。

このままだと患者の家族に訴えられるかも…。

というのがきっかけで武田教授が私たち開業医も理解できるように、認知症と間違いやすいてんかんのことについて診断と治療をわかりやすく講演していただきます。

聞くは一時の恥、知らぬは一生の恥。

講演会に来てくださいね。 (案内は4面)



会 員 投 稿 かざみどり通信16



安倍政権の戦争法案—衆愚政治とは

北区・川西 敏雄 先生

去る6月19日、協会会議室で非核の政府を求める兵庫の会が開催した「亡国の安保政策 安倍政権と「積極的平和主義」の罠」に参加した。報道を威嚇し、ポツダム宣言を読まずに戦後レジームからの脱却を語るような政権に対し、最後の砦が日本国憲法であり、また現政権に憲法を語る資格がないと改めて確信できた講演会だった。



講演した柳澤協二元内閣官房副長官補

柳澤協二氏は東京大学法学部を卒業後、防衛庁に入庁された。自衛隊がイラクへ派遣されていた2004年に、内閣官房副長官補に就任し、2009年に退官した。一方の泥憲和氏は、防空ミサイル部隊に所属していた元自衛官である。

このお二人がおっしゃるには、日本の将来を鑑みたときに、安倍政権の安保法

案は到底容認できる法案ではないとのことだった。

対談で柳澤氏は、抑止力とは、力の勝るものが同等以下の相手に対して行う示威行為だとされた。抑止力を使うに当たっては、将来にわたる隣国との平和のためにも国家同士の対話も促進しなければならないとのことであった。しかし安倍政権はこの平和の道と真逆の政策を目指している。中韓と対話はせずに、国民に対してナショナリズムを煽り、第二次世界大戦後のポツダム宣言に基づく国際体制、「戦後レジーム」からの脱却を目指そうとしていると批判していた。

一方の泥氏は、元自衛官という御自身の経験から安保法制を語られた。自衛隊は「サービスの宣誓」をしているので、血の同盟に基づく命令があればそれに従うことは間違いないが、それでは先の戦争とまったく同じ道を歩むこととなると指摘していた。「大本営」は安全な場所で指示を出すだけで、現場の自衛官が外国の地で危険にさらされる。元自衛官の泥氏には到底許されないことだろう。集団的自衛権などなくでも国を守ることはできる、今こそ専守防衛を目指す時ではないかと主張していた。

対談を通して、二人はそろって世論の大切さを強調していた。安保法制が憲法に反すると訴えるだけではだめで、子どもたちのために、今一度戦争をしない国
----- (3面に続く)

(2面から続く)-----



対談する元内閣官房副長官補の柳澤協二氏(右)と元自衛官の泥憲和氏(左)

という日本ブランドの維持と、紛争の早期收拾を目指すことの大切さを市民へ訴えることが大切とのことだ。

“衆愚政治とは判断力の乏しい人間に参政権が与えられている状況。それゆえ

におろかな政策が実行される状況”とある。今の日本はそうなってはいないだろうか。

-平成27年7月16日安保法案衆院通過



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

電話 078-393-1807/FAX 078-393-1802 e-mail kuriyama-h@doc-net.or.jp
担当；栗山まで

開業医手作り 健康情報テレホンサービス

9月のテーマ

- 月曜日 乳がんの早期発見・早期治療
- 火曜日 足の裏の痛み—足底筋膜炎—
- 水曜日 大腸がんの早期発見・早期治療
- 木曜日 早期前立腺がんの放射線治療
- 金土日 最近のニキビの治療

10月のテーマ

- 月曜日 子どものインフルエンザ
- 火曜日 よく噛むことと認知症予防
- 水曜日 C型慢性肝炎治療の進歩
- 木曜日 家での誤った応急処置
- 金土日 脳卒中の予防について



患者さんにオススメください!